

## 革新、独創、発展性に挑む 研究者を支援

# 第3回 エヌエフ基金 研究開発奨励賞

論文  
募集

募集期間：2014年6月10日～9月30日

エヌエフ基金「研究開発奨励賞」は、革新性と独創性の高い、かつ科学や技術の進歩、発展に貢献する研究開発活動を顕彰し、研究開発の更なる発展を支援することを目的としています。

2014年度の募集分野は、「先端計測」と「環境・エネルギー」です。次世代を担う研究者の応募に期待しています。

### 募集要項

#### (1) 募集の対象となる研究開発分野

「先端計測」および「環境・エネルギー」

#### (2) 選考基準

- 研究開発の着眼点と概要
- 革新性
- 独創性
- 科学や技術の進歩に役立つ発展性
- 使命感・考え方も評価の対象
- 研究開発途上であってもよい

#### (3) 応募資格

2014年12月末時点で満35才以下の方

#### (4) 表彰内容

##### ■ 研究開発奨励賞

10名——— 表彰状・記念品・副賞 10万円

応募申請書および参考資料により、10名を書類選考し、表彰状・記念品・副賞(10万円)を授与。  
奨励賞受賞者は、2014年11月21日(金)開催予定の発表会にて、研究発表を行う。

##### ■ 研究開発奨励賞優秀賞

2名——— 表彰状・記念品・副賞 50万円

上記受賞者の中から研究発表会において優秀と認められた2名に、表彰状・記念品・副賞(奨励賞の副賞込みで50万円)を授与。

#### (5) 日程

- 募集期間——— 2014年6月10日(火)～9月30日(火)<必着>
  - 研究開発奨励賞発表——— 2014年10月下旬
  - 研究発表会・研究開発奨励賞表彰式——— 2014年11月21日(金)
- ※研究開発奨励賞受賞者は研究発表会に出席していただけます。

#### (6) 応募手続

##### ● 応募書類

- 当財団所定の書式「2014年度エヌエフ基金 研究開発奨励賞応募申請書」(和文、ワード形式) ※エヌエフ基金ホームページよりダウンロード
- 1～3件の参考資料  
論文集等または学会等での既発表資料(和文もしくは英文)  
※提出書類は返却しません。  
また、発表会の資料として公開することがありますので、ご了承ください。

##### ● 応募方法 Eメールまたは郵送にて提出

##### ● 提出期限 2014年9月30日(火) 必着

##### ● 提出先 一般財団法人 エヌエフ基金「研究開発奨励賞」募集係 宛

##### ■ Eメールの場合：award@nf-foundation.or.jp

- 応募申請書には写真が必要です。  
申請書に画像データを取り込んでください。
- 件名を「研究開発奨励賞応募」で送信してください。

##### ■ 郵送の場合：〒223-0052 横浜市港北区綱島東6-3-20 株式会社エヌエフ回路設計ブロック内

#### (7) 選考委員会 (五十音順、敬称略)

- 石田 政義 (筑波大学 教授)
- 井深 丹 (タマティール株式会社 代表取締役会長)
- 大崎 博之 (東京大学 教授)
- 小林 彬 (東京工業大学 名誉教授)
- 辻 毅一郎 (大阪大学 名誉教授)
- 藤崎 和子 (公益財団法人東亜留學生育友会 代表理事)
- 堀岡 一彦 (東京工業大学 教授)
- 本多 敏 (慶応義塾大学 教授)

#### 研究開発奨励賞に関するお問い合わせ先

一般財団法人 エヌエフ基金「研究開発奨励賞」募集係

E-mail award@nf-foundation.or.jp

URL http://www.nf-foundation.or.jp/

EメールまたはWebサイトのフォームにて  
お問い合わせください。

# 一般財団法人 エヌエフ基金について

## ◆ 目的

科学技術の進歩にとり有益と見込まれる研究活動を広く支援、顕彰し、また、社会の将来を担うべき有為の人材を支援、育成することを通じて、科学技術の振興を図り、より健全な社会と人類のいつその幸福の創造に寄与することを目的として、事業を行う。

## ◆ 設立趣意

現代においては、環境問題、エネルギー問題等をはじめとして、人類共通の或いは地球規模の問題が数多く出現するとともに、これらの問題の解決に当たってはグローバルな取り組みが不可欠との認識が漸く広く共有されるに及んでいる。もとより、これらの問題解決には科学技術に限らず、政治的、経済的、或いは文化的な観点等からのアプローチも求められるところではあるが、その基礎をなすものとして、科学技術に求められる役割は益々重要性を高めるに至っていると考えられる。

21世紀を迎え、研究開発活動は逐次高度化を遂げているところではあるが、このような状況をも踏まえれば、研究開発活動を一段と広く、更に深く促進し、また、これら活動全般を支える知的基盤を人類共通の資産として整備していくことが喫緊の課題と考えられる。また、研究開発活動は予算面、時間面、人的能力面等の制約のもと、ともすれば短期的な成果に傾きがちなる場合も見られるが、新しい知を持続的に生み出さうような重厚な知的体系を形成していくことが重要であり、そのためには、基礎的、普遍的な知的探求を、長期的視点のもとで推進、支援することもまた極めて重要と考えられる。

このような研究を担うべき人材面に関しては、国内外において情熱をもって知的創造に邁進する意欲的な研究者の育成と活躍の促進が必要不可欠であり、さらに遡って高等教育の段階においても、才能に恵まれ意欲に満ち溢れた人材の発掘、育成、支援が益々その重要性を増していると考えられる。

以上の基本的な認識に基づいて、当基金は、科学技術の進歩にとって有益と見込まれる研究活動を広く支援、顕彰し、併せて、社会の将来を担うべき有為の人材を育成、支援することを目指して、頭書基金を設立することとした次第である。

## ◆ 事業

目的を達成するため、国内外において次の事業を行う。

- ① 科学技術研究、研究交流や学会活動に対する支援、助成
- ② 科学技術に関し顕著な業績を上げた個人又は団体の顕彰
- ③ 科学技術研究に関する調査、情報の収集及び提供
- ④ 学生等への奨学金の給付
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

### 法人概要

- 名称 一般財団法人 エヌエフ基金  
NF Foundation
- 所在地 (主たる事務所) 〒223-0052  
横浜市港北区綱島東6-3-20  
株式会社エヌエフ回路設計ブロック内
- 設立年月日 2012年3月28日
- 代表理事 北森 俊行

## 第2回(2013年度)研究開発奨励賞

昨年度の募集分野は、本年度同様「先端計測」と「環境・エネルギー」で、10名の方が以下のテーマで研究開発奨励賞を受賞されました。

### ■ 先端計測

- ナノ電気化学顕微鏡の創成
- 超早期「その場」診断を目指した極微量マイクロRNAのオンチップ極限計測
- シリコン結合タンパク質をインターフェイスとした半導体とバイオテクノロジーの融合による新規バイオセンサーの開発
- オペアンブシェリング技術を応用した高精度・低消費電力A/D変換LSIの開発
- 柔軟な発光性 $\pi$ 共役分子で材料歪みや粘性変化を可視化する技術の創出
- X線天文衛星搭載の最先端ガンマ線センサ技術の分野を超えた応用展開

### ■ 環境・エネルギー

- 多様な電力変動に対応して高効率な入出力が可能なバッテリーキャパシタハイブリッド蓄電システムの開発と制御手法の確立
- ナノポーラスコンポジット材料を活用した省エネ電力機器技術に関する研究開発
- 機能性凝集剤による前凝集とセラミック膜ろ過を融合した省エネルギー型浄水処理システムの開発
- 紙資源を利用した不揮発性メモリ素子の開発



◀ 研究発表会



◀ 表彰式